

申9号

新幹線のサービス品質向上と 新幹線乗務員への情報提供設備改良 を求める申し入れ!提出!!

北陸新幹線金沢開業は沿線自治体の注目度も高く、大きな期待が寄せられています。また、新幹線の新型車両であるE7系(F編成)が投入され、JR西日本との相互運用を担うこととなります。

本部は、E7系(F編成)の2人乗務を求めてきました。しかし、会社は「新幹線車掌のドア扱い方法変更について」の考え方を示し、ホーム上に車掌用設備を整備することにより1人乗務が可能としています。

新幹線車掌の任務・役割であるドア扱いは、新幹線輸送の安全と安定を確保する上で最重要任務です。また、車内秩序の維持やテロ対策や防犯対策等の危機管理強化も実現して行かなくてはなりません

新幹線輸送の安全を確保するため会社と議論していきます。



◆申し入れ事項

1. 『新幹線車掌のドア扱い変更』に関する目的を明らかにすること。また、各種編成新幹線の乗務員位置をグリーン車としてきた理由を明らかにすること。
2. 新幹線車掌の任務・役割を明確にすること。
3. 中間車掌室付近の巡回回数と車両端の巡回回数に差が生じることを解消し、車内秩序の維持のみならず防犯対策等の危機管理強化を実現するために、E7系(F編成)の乗務車掌は2人とすること。
4. 新幹線列車のホーム進入進出時、非常停止手配を最優先とするため、ドア扱い箇所の基本は1カ所とすること。また、異常時に限って先頭車両でドア扱いをする取扱いとすること。
5. 北陸新幹線開業にて発生するJR西日本との相互乗り入れでも、現在の『新幹線車内システム』は継続して使用すること。また、JR西日本にも共通のシステムを導入し、お客様へのサービス品質を向上させること。
6. 非常通報装置が扱われた際には、過去に発生した刑事事件を教訓化し現地確認を最優先し、扱った旅客の理由をもって復位することを取扱いの基本とすること。また、取扱いに齟齬が生じた際の責任の所在を明確にすること。
7. 旅客に対して最低限の情報を提供するための必要なツールとして、全乗務員休憩室にテレビを設置すること。

職場からの議論を積み重ね新幹線の安全輸送を確保しよう